

宮 崎 市 政 モ ニ タ ー

令和 7 年度第 1 回アンケート集計結果

(令和 7 年 7 月実施分)

第 1 回アンケート

- | | |
|---------------------------|---------|
| ①適正な救急利用に関するアンケート調査 | ・・・P 3～ |
| ②期日前・投票日当日の投票所に関するアンケート調査 | ・・・P 8～ |
| ③市街地の客引き行為等に関するアンケート調査 | ・・・P15～ |
| ④ごみ減量とリサイクルに関するアンケート調査 | ・・・P24～ |

宮崎市秘書課広報広聴室

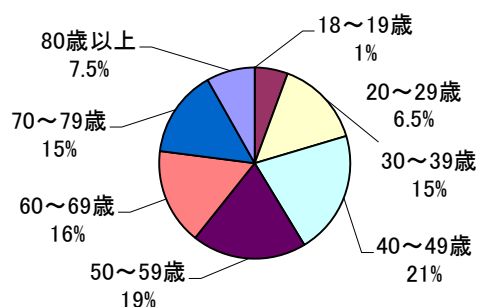
令和7年度 第1回宮崎市政モニターアンケート調査概要

(1)調査担当課	①消防局 警防課 ②選挙管理委員会 選挙管理委員会事務局 ③環境部 環境政策課 ④危機管理部 地域安全課
(2)アンケート内容	① 適正な救急利用に関するアンケート調査 ② 期日前・投票日当日の投票所に関するアンケート調査 ③ 市街地の客引き行為等に関するアンケート調査 ④ ごみ減量とリサイクルに関するアンケート調査
(3)調査期間	令和7年7月11日～令和7年7月25日 ※終了後も一定期間回収
(4)送付数	196人 (WEBモニター:134人、郵送モニター:62人)
(5)回答数	①168人 (WEBモニター:108人、郵送モニター:60人) 回答率 85.7% ②165人 (WEBモニター:105人、郵送モニター:60人) 回答率 84.2% ③164人 (WEBモニター:104人、郵送モニター:60人) 回答率 83.7% ④162人 (WEBモニター:102人、郵送モニター:60人) 回答率 82.7%

モニターの属性

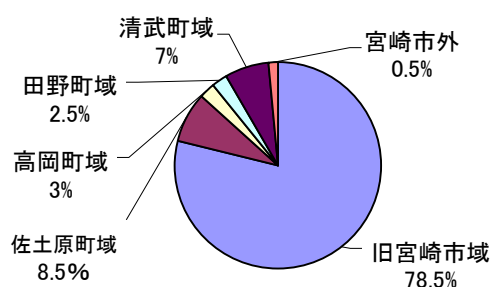
基準日：令和7年4月1日

年齢別



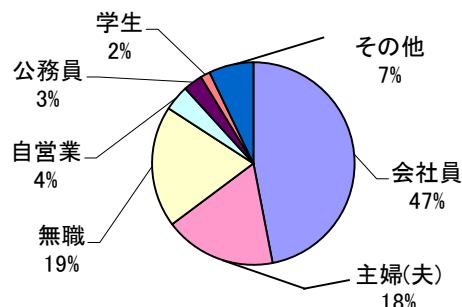
18～19歳	0人	50～59歳	38人
20～29歳	11人	60～69歳	32人
30～39歳	29人	70～79歳	29人
40～49歳	41人	80歳以上	16人
合 計			196人

地域別



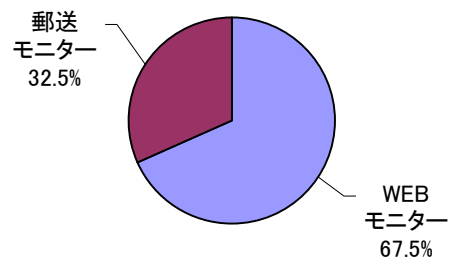
旧宮崎市域	153人	高岡町域	6人
佐土原町域	17人	清武町域	14人
田野町域	5人	宮崎市外	1人
合 計			196人

職業別



会社員	92人	自営業	8人
主婦(夫)	35人	公務員	6人
無職	38人	学生	3人
その他	14人	合 計	196人

モニター種別（アンケート方法）



WEB	134人	郵送	62人
合 計			196人

※回答比率は、小数点第1位を四捨五入しているのため、合計が100%にならない場合があります。

適正な救急利用に関するアンケート 集計結果

◆ 調査の目的

市民に対して「適正な救急利用」をあらゆる機会を捉えて広報を行っているが、状況が変わらないため、市民のご意見を参考に「適正な救急利用」を促進させる方策の検討材料とするもの。

◆ 調査概要

- | | |
|-----------|---------------------|
| (1) 調査期間 | 令和7年7月11日～令和7年7月25日 |
| (2) モニター数 | 196人 |
| (3) 有効回答数 | 168人（回答率 85.7%） |
| (4) 担当課 | 消防局 警防課 |

◆ 調査結果考察

【問1】

- ・本市消防局の救急出動の約半数が不急・不要な事案であることを知っていたのは、30%にあたる51人であった。70%の方が知らないため、今後、救急の現状を市民へ訴えていく必要がある。

【問2】

- ・本市消防局が行っている「救急車の適正利用」に関する広報を半数にあたる85人が知っていた。半数は広報を知らなかったため、広報のあり方を検討して行かなければならない。

【問3】

- ・知っていた広報は、上位から「市の広報誌内」53人、「テレビ放映」42人、「自治会班回覧」37人との結果となり、市の広報誌や自治会班回覧が有効であることが分かった。

【問4～問6】

- ・救急安心センター事業（＃7119）を35%にあたる59人が知っており、その中で約70%にあたる41人が宮崎県では運用していないことを知らなかった。
救急安心センター事業（＃7119）の整備については、約70%にあたる116人が早急に整備すべき、20%にあたる32人が将来的には整備するべきと考えていた。
整備については、約90%にあたる148人が肯定的な考えであった。

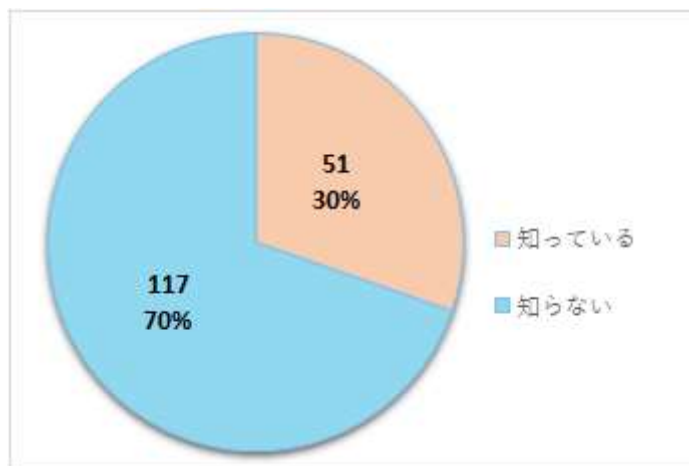
◆ 調査結果まとめ

- ・今回の調査において、救急の現状に関しては市民に浸透しておらず、消防局が行っている広報においても認知度が半数であったことから、広報のあり方を再検討する必要がある。
- ・救急安心センター事業（#7119）の整備については、市民の約9割が肯定的な考えであったため、早期実現に向けて取り組んでいく必要がある。

◆ 調査結果

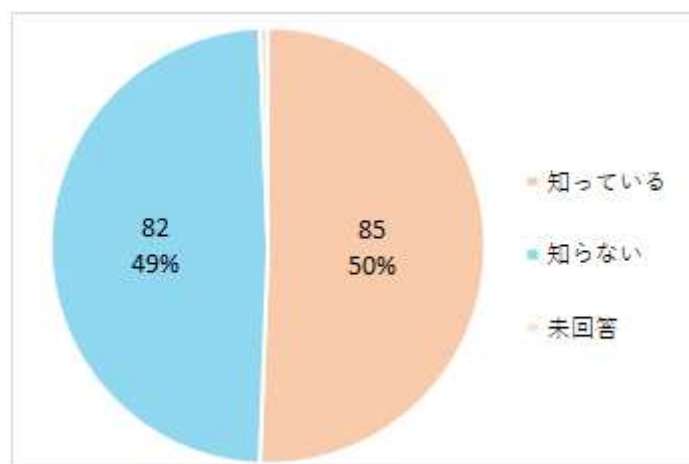
問1 本市消防局の令和6年中の救急出動件数（22,785件）のうち11,000件以上が不要・不急の事案であったことを知っていますか。

11,000件以上が不要・不急の事案	
知っている	51
知らない	117



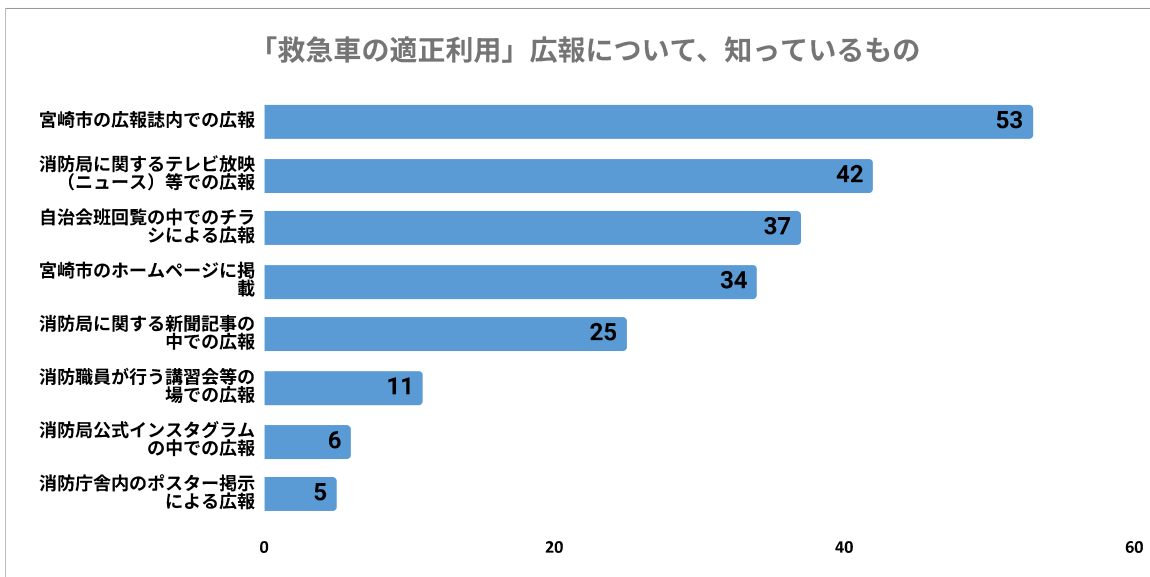
問2 本市消防局が市民に対して「救急車の適正利用」について広報していることを知っていますか。

「救急車の適正利用」広報	
知っている	85
知らない	82
未回答	1



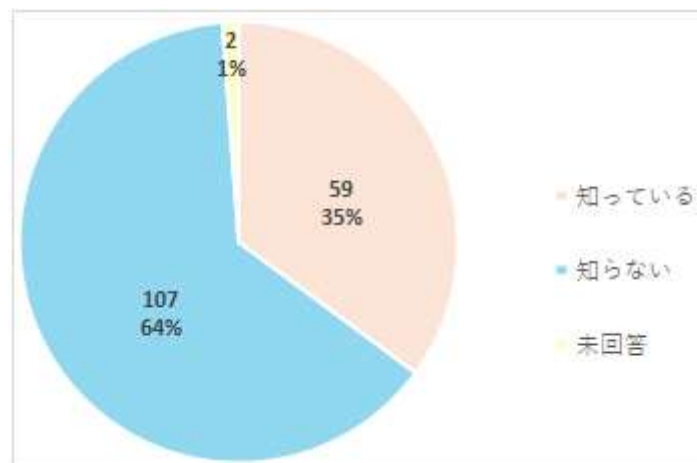
問3 本市消防局が「救急車の適正利用」を市民に対して行っている広報について、知っている（見たことがある）ものすべてを選んでください。

「救急車の適正利用」広報について、知っているもの	
宮崎市の広報誌内での広報	53
消防局に関するテレビ放映（ニュース）等での広報	42
自治会班回覧の中でのチラシによる広報	37
宮崎市のホームページに掲載	34
消防局に関する新聞記事の中での広報	25
消防職員が行う講習会等での広報	11
消防局公式Instagramの中での広報	6
消防庁舎内のポスター掲示による広報	5



問4 「急なけがや病気で救急車を呼ぶか」、「病院に行くべきか」等の迷った時、電話による無料の相談窓口である救急安心センター事業（#7119）を知っていますか。

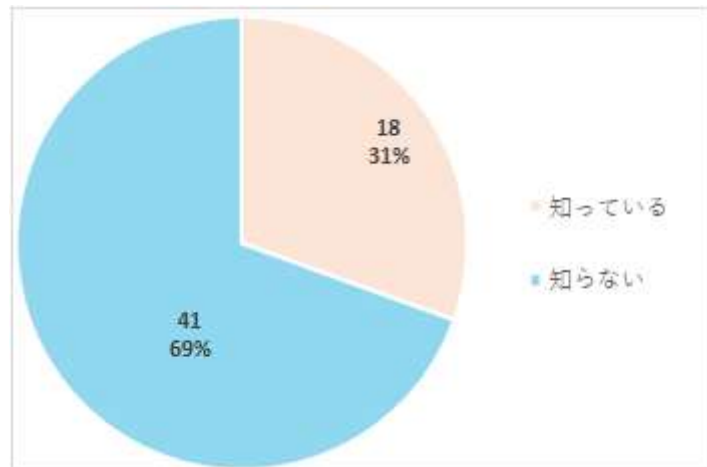
救急安心センター事業（#7119）を知っていますか。	
知っている	59
知らない	107
未回答	2



問5 救急安心センター事業（#7119）は、令和7年5月現在、全国37地域、国民の79.1%、9,981万人が利用可能となっている中、宮崎県には設置されていないことを知っていますか。

宮崎県には設置されていないことを知っていますか。

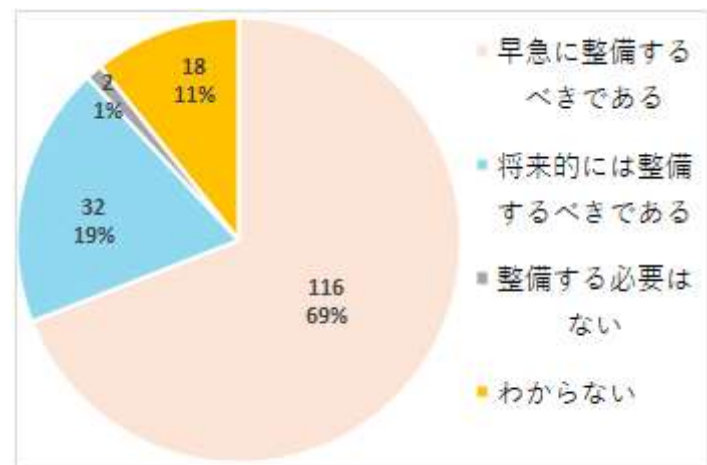
知っている	18
知らない	41



問6 宮崎県における救急安心センター事業(#7119)の整備については、どのように考えていますか。

救急安心センター事業（#7119）の整備について

早急に整備するべきである	116
将来的には整備するべきである	32
整備する必要はない	2
わからない	18



問7 宮崎市消防局における不要・不急の救急出動件数を減らすための方法や提案がありましたら教えてください。また、他にご意見がありましたら自由にご記入ください。

1. 広報・周知の強化に関するご意見

- ・ テレビ、ラジオ、新聞など、様々な媒体で広報する。特に高齢者が多い時間帯のテレビCMや、免許更新時のチラシ配布などが提案されている。
- ・ 具体的な事例を掲載したパンフレットを作成し、各世帯に配布する。
- ・ インターネット、SNSも活用し、若年層への周知も図る。
- ・ クリニック、スーパー、コンビニなど、人が集まる場所に掲示する。
- ・ 自治会、学校、職場などを通じて広報する。
- ・ 広報誌に毎回、不適切な事例を掲載する。
- ・ 救急車利用リーフレット等の認知度が低いので、配布方法を再検討する。

2. 救急安心センター（＃7119、＃8000）の整備・活用に関するご意見

- ・ 救急安心センター（＃7119）を早急に整備し、周知徹底する。
- ・ ＃7119をもっと市民に知らせるべき。
- ・ ＃8000の認知度向上も必要。
- ・ 知事・市長にもっと積極的に取り組んでほしい。

3. ペナルティ・有料化に関するご意見

- ・ 不要不急の場合の費用請求を強化し、氏名公表も検討する。
- ・ 入院に至らなかった場合は、費用を負担させる。
- ・ 軽症者や、救急車をタクシー代わりに利用する人からは、実費相当額を徴収する。
- ・ 常習的・悪質な利用者には、業務妨害として立件し、高額な反則金を科す。

4. 医療体制の整備・連携に関するご意見

- ・ 病院の受け入れ体制を強化し、断らないようにする。
- ・ かかりつけ医との連携を強化する。
- ・ 訪問看護の利用を推進する。
- ・ 夜間救急診療所など、診療時間外の受診できる病院の情報を提供する。
- ・ 医療機関側にも、救急車の適正利用について協力を依頼する。

5. その他のご意見

- ・ 救急隊員の人材確保と、責任の重い業務へのサポート。
- ・ 救急車要請時に、通話カメラで状況を把握できるようにする。
- ・ 救急車に準ずる車両（ライトバンタイプなど）を配備する。
- ・ AIによる自動振り分けを検討する。
- ・ 1次対応、2次対応の考え方を取り入れ、救急隊員の拘束時間を最小限にする。
- ・ 高齢者の不安解消のために、相談窓口の設置だけでなく、更なる対策が必要。

期日前・投票日当日の投票所に関するアンケート調査 集計結果

◆ 調査の目的

本市においては、期日前投票利用者数は増加している一方で、投票率は年々低下している現状にある。また、人口減少の進行により、事務従事者等を従来通りに確保することが困難にある。

こうした状況を踏まえ、本市における現在の期日前投票所・当日投票所の場所や時間等について、皆様のご意見を聴き、適切な投票環境の整備を行うための参考にする。

◆ 調査概要

- (1) 調査期間 令和7年7月11日～令和7年7月25日
- (2) モニター数 196人
- (3) 有効回答者数 165人 (回答率 84.2%)
- (4) 担当課 選挙管理委員会 選挙管理委員会事務局

◆ 調査結果まとめ

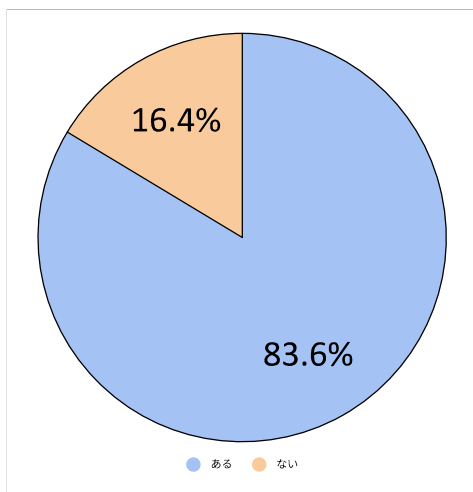
今回の調査の結果、期日前投票所・当日投票所いずれについても、利用に適しているとの意見が8割以上であることが明らかとなった。

期日前投票所については、拡充を行うべきとの意見が半数以上であった。当日投票所については、閉鎖時刻繰上げには肯定的な方が過半数であったが、統合（減数）には否定的な方が多くみられた。

従事者確保が困難であるとの課題が存在する一方、市民の方からは現状の水準維持及び利便性のさらなる向上に対する意見が多く集まっている。そのため、現状の投票環境と同等以上の水準を確保しつつ、事務従事者が減らせるような代替手段を確保しなければならない。今後、移動期日前投票所や共通投票所等について具体的に検討し、可能な限り多くの選挙人の方の投票機会を確保できるよう取り組む必要がある。

◆ 調査結果

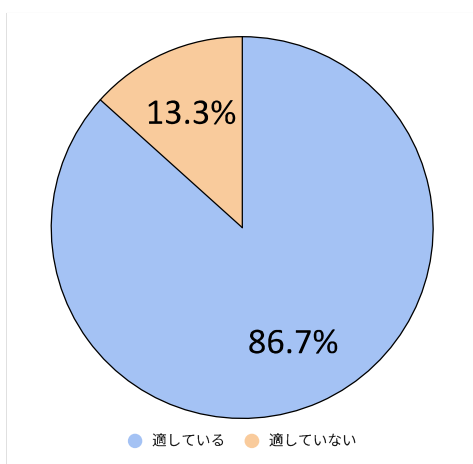
問１．期日前投票をしたことはありますか。



ある	138
ない	27

有効回答165件

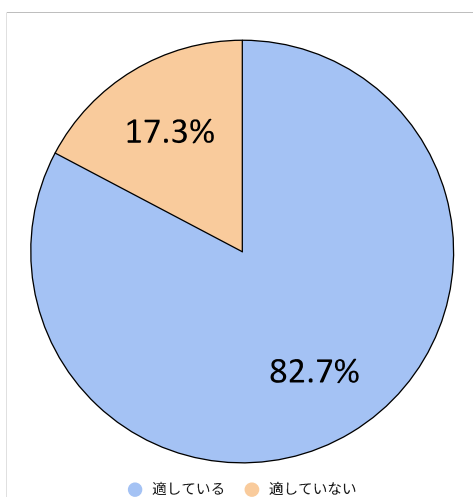
問２．現在の期日前投票所の開設場所は、利用に適していると思いますか。



適している	143
適していない	22

有効回答165件

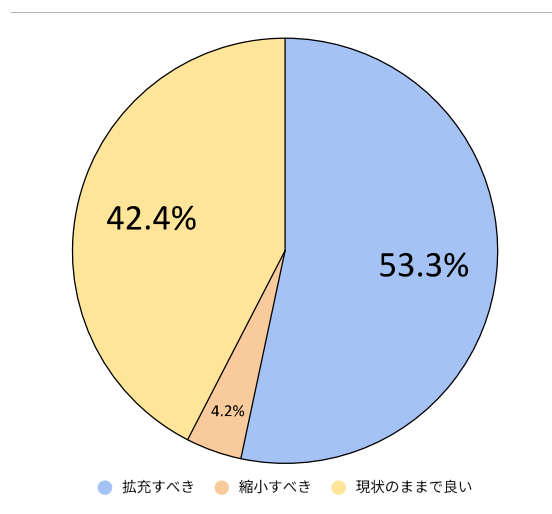
問３．現在の期日前投票所の開設時間は、利用に適していると思いますか。



適している	134
適していない	28

有効回答162件

問４．今後、期日前投票所は拡充すべきだと思いますか。縮小すべきだと思いますか。



拡充すべき	88
縮小すべき	7
現状のままで良い	70

有効回答165件

問５．問４について、理由を教えてください。

【拡充すべきと回答した者の理由】（自由記述、一部抜粋）

- ・高齢化が進んでいます。自動車で行けない方たちは、やはり自治会のある近くで投票ができるようにした方がいいと思います。
- ・仕事終わりでも利用できると投票率上昇につながる。
- ・行かない人は行かないが、投票所を目にする機会が少しでも多くなれば啓発にもなり、身近に感じると思う。
- ・買い物ついでにできる場所を増やすと期日前に来る人が又増えると思う。
- ・人が多いところに拡大してほしい。
- ・学生を含む若年層の投票率向上のために拡充すべきだ。
- ・期日前投票所利用者数は増えているのに、投票率が低下しているということは、期日前に行ける場所があれば行けた（投票できた）かもしれないから。

【縮小すべきと回答した者の理由】（自由記述、一部抜粋）

- ・もう少し減らさないと関る職員の人件費が負担になる。
- ・当日投票が基本と考える。

【現状のままで良いと回答した者の理由】（自由記述、一部抜粋）

- ・期日前投票を利用される方は、それぞれ当日に予定がある方でまた、政治に関心のある方が利用されているのしょうから、投票所を増やしたとしても、利用者が極端に増えるとは思えません。
- ・ネットで申し込めるようにした方がいい。
- ・十分に期日前投票ができる環境であると考えため。
- ・投票率が下がっているのは政治不信と政治に対する意識の低下が原因であって、投票環境のせいではない。

問 6 ． 期日前投票所について、提言等を含めて自由な意見をお書きください。

(自由記述、一部抜粋)

・マイナンバーを自分で読み込ませて、投票用紙を発券できるようにすれば人員が削減できると思う。

・イオンモール以外にももっと身近なスーパーやドラッグストアにも開設してほしい。立会人などは不要だと思う。(法律上難しいのは承知ですが)

・場所がわかるようにもっと宣伝してほしい。

・選挙公報を期日前が始まるまでに公表、配布しなければ、期日前に行くことが遅くなり、選挙当日に行くことを面倒と感じる人も増えるのではないですか？

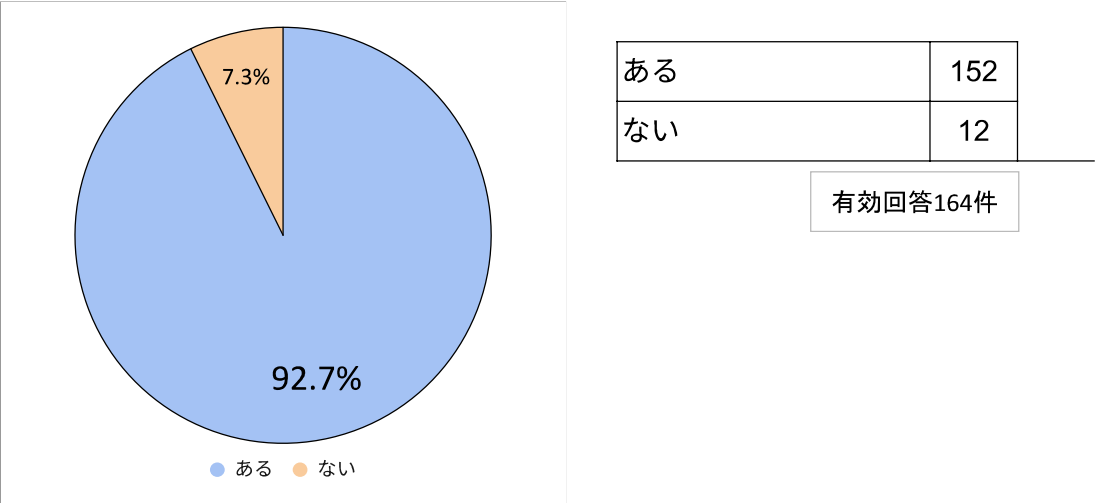
・期日前投票所の事務従事者の方には頭が下がりますが、確保が困難なのであれば人数を減らしてはいかがでしょうか。各役割毎に人数が決められているとは思いますが、監視カメラや順路の配置などで補えるのことがあるような気がします。

・選挙制度の大きな改革が必要、昔ながらの旧然たる制度を役所（選挙管理委員会）の仕事として死守してる事を考え直す必要があります。

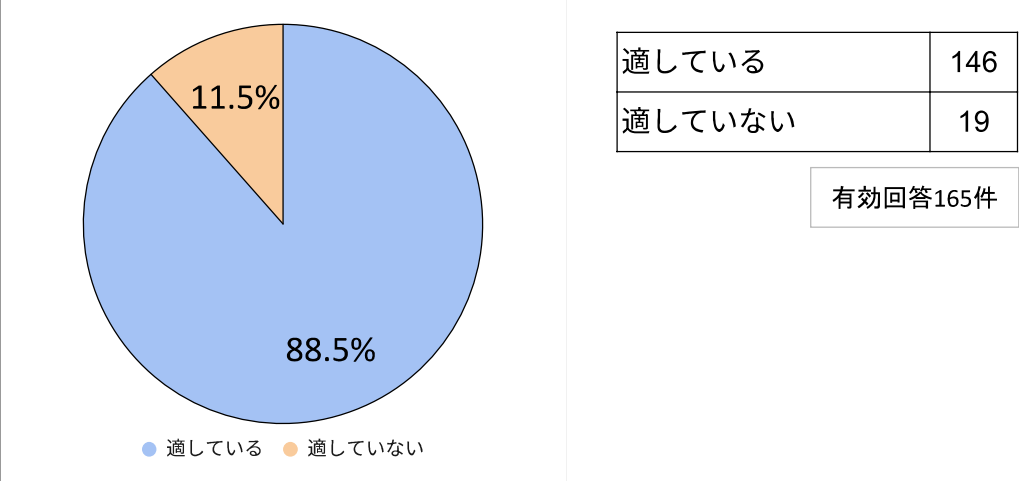
・移動期日前投票所とかあればいいと思う。

・期日前投票については、タブレットによる電子投票も検討していただきたい。

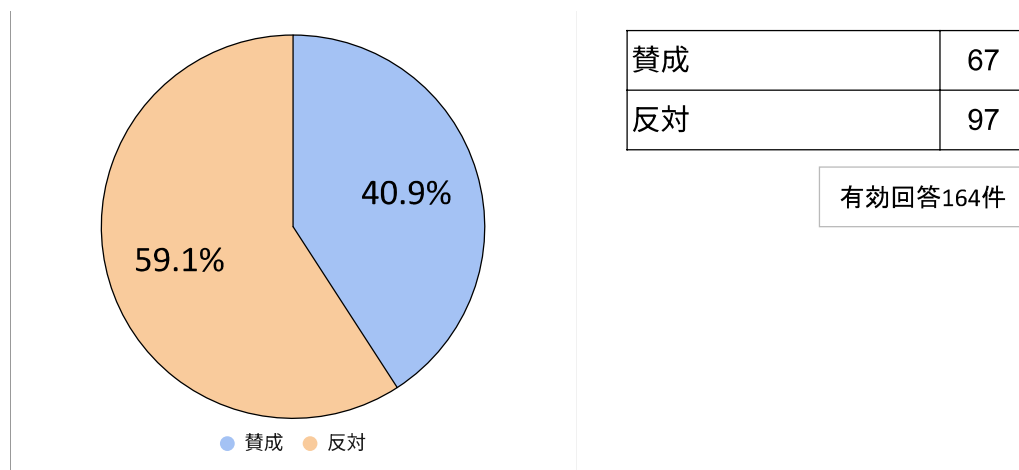
問 7 ． 当日投票をしたことはありますか。



問 8 ． 現在の当日投票所の開設場所は、利用に適していますか。



問 9 . 当日投票所を統合する（減らす）ことに賛成ですか。



問 10 . 問 9 について、賛成もしくは反対の理由を教えてください。

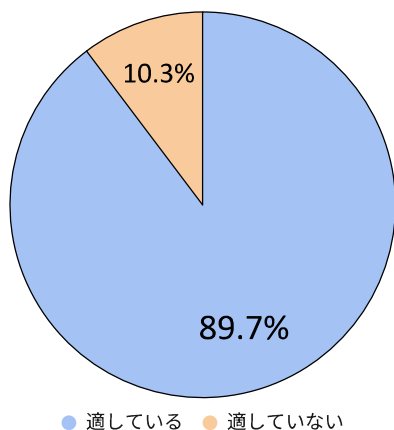
【賛成と回答した者の理由】（自由記述、一部抜粋）

- ・期日前投票所を拡充することを前提に当日投票所の撤廃に賛成。
- ・期日前投票をする方も多いので、減らしても問題ないと思います。
- ・投票所を統合して、ショッピングセンターや大学などが集まりやすいところやインターネットなどの投票も考えるほうがみんなが当日投票できると思います。また、市内ならどこでも当日投票できるとしてもらえたら便利です。
- ・市役所職員の負担と選挙費用の削減が必要。
- ・人口減少の中、すべてを満足させるのは無理。期日前投票を拡大するのであれば当日投票所の縮小は必要である。

【反対と回答した者の理由】（自由記述、一部抜粋）

- ・極端に投票者が少ない場所は減らしてもよいと思いますが、そうでなければ減らす必要はないと考えます。
- ・今のままでいいから。
- ・当日投票する人はずいぶん減ったと思うので、本来なら統合すべきだが年寄りには遠くへ行くのは大変なのではと思われる。投票所へ行くバスや投票できるバスが周遊するなどの工夫があれば統合してもよいが。
- ・行き慣れた会場がなくなるのは不便になるので。
- ・条件付き反対。あくまで、投票者の利便を大きく損なわない事を中心にして、統合を検討することは必要。
- ・移動手段が限られる高齢者の方の投票数が減ってしまうと思うため。
- ・混雑して配布ミスなども増えるのではないかと心配。
- ・高齢化が進んでおり、住民の行動範囲が狭まっていることより、投票率を上げるためには投票所の拡充は必要。
- ・現在設置されている投票場所は地域的に最低必要な場所にあると思うので、減らす事は反対です。
- ・子供も連れて行くので混雑したら嫌なので。
- ・投票所までの距離や利便性は、投票率を下げないための基本的根本的要因の一つである。
- ・投票所を減らす事は投票に行っていない人達に行かない理由を新たに提供する様なものです。
- ・これ以上投票場所が減ると行かないと思います。近い場所がなくなり、遠い場所しかないとなるとわざわざ行く意味は無いと思います。

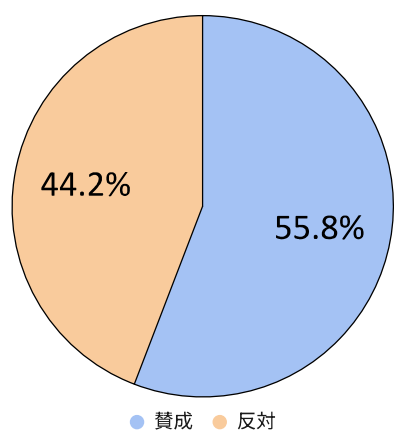
問１１．現在の当日投票所の開設時間は、利用に適していますか。



適している	148
適していない	17

有効回答165件

問１２．当日投票所の閉鎖時刻を繰り上げることに賛成ですか。



賛成	91
反対	72

有効回答163件

問１３．問１２について、賛成もしくは反対の理由を教えてください。

【賛成と回答した者の理由】（自由記述、一部抜粋）

- ・開票作業が大変。期日前投票を充実させれば時間短縮でもオッケーなのでは？
- ・条件に応じて、投票時間は選択出来る事から、閉鎖時間は各所の過去の投票時間データの集計で考慮し、時短しても良いと思う。
- ・行政負担の軽減。開票時刻の迅速化。選挙結果のスピードアップ。
- ・実際、19時を過ぎて投票に行った事が何度もあるが、この時間帯に投票する人は、殆どいない。
- 中心市街地と郊外とで、閉鎖時間の差別化を図ってもいいのでは。
- ・自分が投票に行く時は混むのを見たことがない。ポツリ...と来る人のために従事する方は拘束時間が長くて大変だなと思っていた。投票意志のある人は定められた時間内や期日前に投票に行くと思うので閉鎖時間を繰り上げには賛成します。
- ・投票所によると思うので、遅い時間に来る傾向がないところは繰り上げて良いと思うけれど、地域の家庭状況（共働き、日中仕事の人など）にもよるので、繰り上げる代わりのものが必要だと思う。
- ・時間に制約のある人は、期日前投票を利用すればいいと思います。

【反対と回答した者の理由】（自由記述、一部抜粋）

- ・繰り上げではなく延長して欲しいと思ってます。
- ・地域によっては早めに閉まる場所もあるが、不公平だと思う。
- ・投票率が異常に低い現在、「繰り上げる」ことは考えるべきではないと思います。
- ・仕事が終わって投票に来る人もいます。20時までは開けてほしい。出来るだけたくさんの人に投票してもらうことが必要だと思うから。
- ・有権者が悪いのはわかりますが、うっかり忘れていた時にチャンスがあるのは大きいと思います。大切な一票ですよ。
- ・季節に合わせて時間を調整してほしい。
- ・少しでも投票率をあげる可能性は残すべき。
- ・私は日曜出勤があり、当日急に仕事等が入った場合行けなくなる。

問14．当日投票所について、提言等を含めて自由な意見をお書きください。

（自由記述、一部抜粋）

- ・関東に住んでいたときに、投票所の前で積極的に呼び込みをしたり飾り付けをしてアピールしていた。宮崎でもやってほしい。
- ・昔からずっと変わらない形です。新しいシステムなどを取り入れて効率よく出来るといいですね。
- ・過去からよく言われています、「電子投票制度」の検討推進。
- ・ネットでの期日前投票などを具現化すべき。コレが最も投票率を上げる術。
- ・高齢の母を投票に連れて行った。投票所に車椅子はあったものの、関係者が使い方、設置方を余り知らないのか手間取った。
- ・立会人の人数が多すぎる。
- ・天候の悪い（強雨）場合、車で来る人が多くなるが、駐車場が狭いところがあるので、誘導員の配置が必要になると思います。

「ニシタチ等の客引き行為等」に関するアンケート調査 集計結果

◆ 調査の目的

市民の「宮崎市客引き行為等の禁止等に関する条例」に対する認知度や、客引き行為等についてどのように感じているかなどを把握し、今後の事業立案に活用したい。

◆ 調査の概要

- | | |
|-----------|---------------------|
| (1) 調査期間 | 令和7年7月11日～令和7年7月25日 |
| (2) モニター数 | 196人 |
| (3) 回答者数 | 164人 (回答率 83.7%) |
| (4) 担当課 | 危機管理部 地域安全課 |

◆ 調査結果考察

【ニシタチ等について：問1～問3】

ニシタチ等に行く人は39.0%で、その中では2～3か月に1回程度が多くを占めていた。一方、ほとんど行かない人が61.0%と、大多数である。また、誰と行くかについては、友人33.7%や仕事関係23.5%と多く、目的は、飲食・飲酒が約60%と、過半数を上回っていることから、ニシタチ等が飲食・飲酒の場であることを示している。

【「客引き行為等」について：問4～問10】

「客引き行為等」の印象は、とても不快または多少不快である人が合計で72.6%と、7割を超えている一方で、気にならない人も一定数いることがわかった。また、「客引き行為等」を受けた人は3割弱で、その場所は、主に中央通り周辺または一番街周辺で、合計で58.5%と、過半を占めている。加えて、その時間帯は、19時～23時が合計で7割弱となっており、風俗営業店がオープンする時間帯や二次会が始まる時間帯に多い傾向だと考えられる。

【本市の取組みについて：問11～問13】

本市の啓発の取組みは、どれも見たことがないという意見が32.9%であったが、これは、主にニシタチ等を通行する人に向けた啓発が多かったことが関係すると考えられる。一方で、啓発パンフレット等の配布や啓発横断幕の設置などは一定の啓発効果があったと思われる。また、職員による夜間巡回は、防犯活動になっているなどの理由により、継続すべきという肯定的な意見が大部分を占めていることがわかった。今後も、引き続き夜間巡回を実施していくことが求められている。

【無料案内所（風俗案内所）について：問14】

とても不快である29.9%、多少不快である24.4%と、2つの合計で54.3%と、過半数が不快に感じていることがわかった一方で、気にならないという意見も一定数あった。

【「客引き行為等」全般についてのご意見：問15】

「客引き行為等」に対して、やめるべき（否定的）という意見や、商売なのである程度は仕方がない（肯定的）な意見、またはその他の意見など、様々な声があった。

◆ 調査結果まとめ

今回のアンケート結果より、客引き行為等に対して、やめさせるべきなどの否定的な意見が多いものの、一方で、悪質なものでなければ容認するような肯定的意見もあることがわかった。また、市の啓発の取組みについては、手段や方法について、検討する余地があることがわかった。

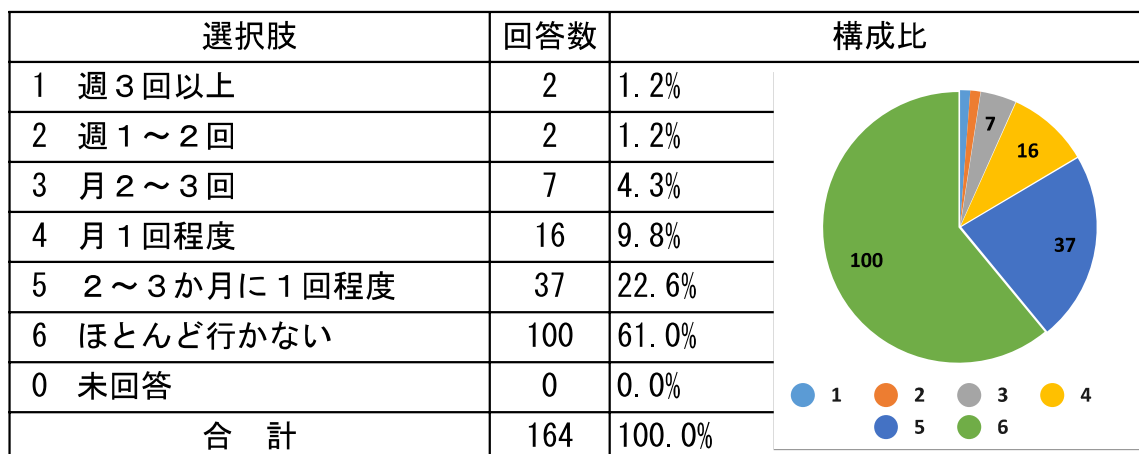
今後も引き続き夜間巡回や警察との連携により、客引き行為等を行う（または行わせる）事業者に対する指導や、市民・事業者に対する条例の啓発を引き続き行っていくことが重要だと考える。

◎ 調査結果

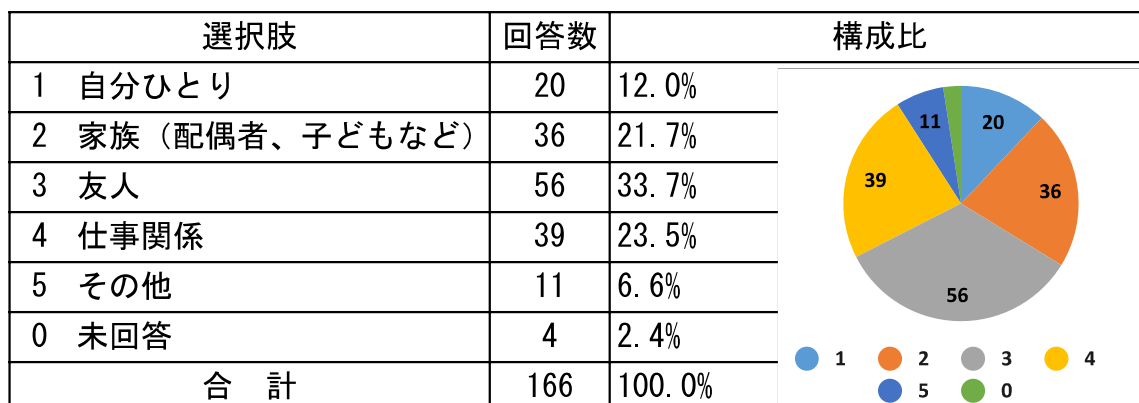
【注意事項】質問によっては、未回答や複数回答のものがありますので、回答者数（164人）と一致しない場合があります。
また、その他のご意見や問15のご意見は、代表的なものを抜粋して記載しています。

■ ニシタチ等について

問1 ニシタチ等へ行く頻度で、あてはまるものを1つだけ選んでください。



問2 ニシタチ等には、主にどなたと行きますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

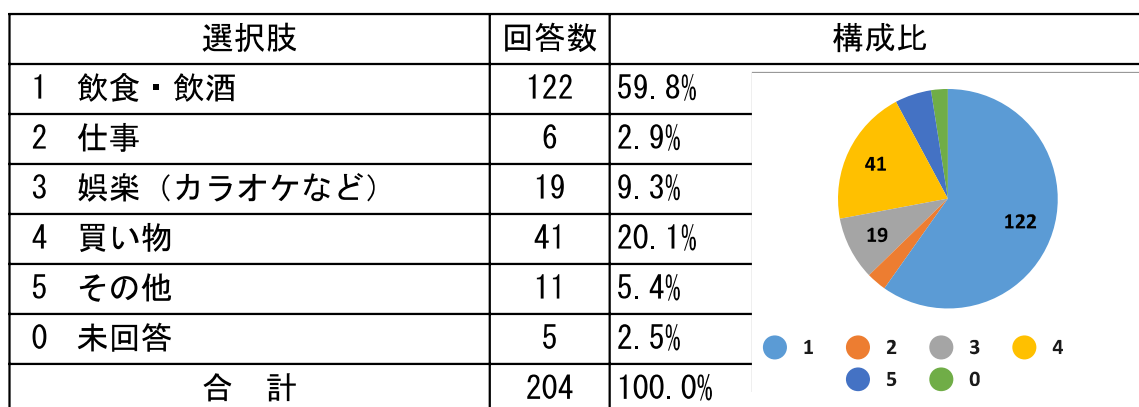


【その他のご意見（一部抜粋）】

○通るだけ

○家族が出かける時の送迎

問3 ニシタチ等に行く主な目的を2つまで選んでください。



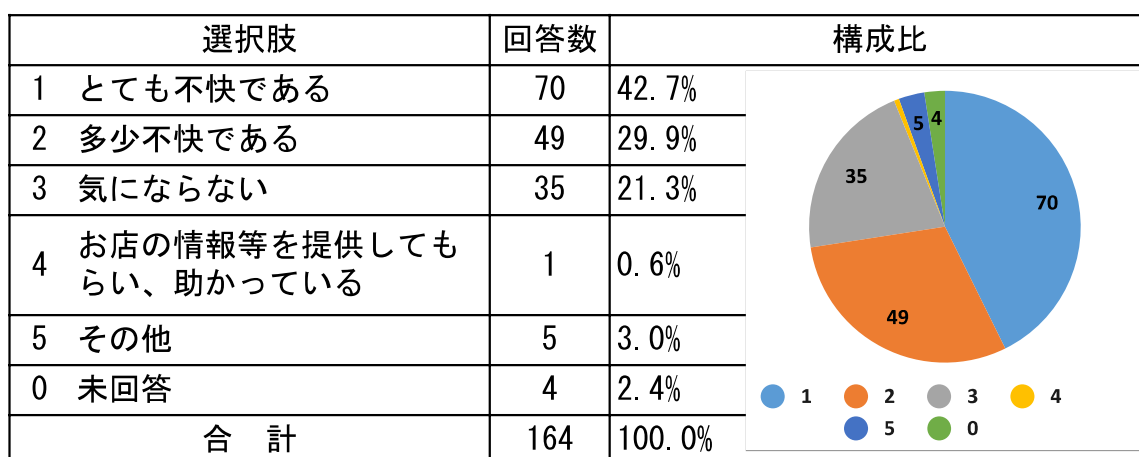
【その他のご意見（一部抜粋）】

○家族が行くため

○行く必要なし

■ 「客引き行為等」について

問4 ニシタチ等で「客引き行為等」を行う店舗やその従業員について、どのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。



【その他のご意見（一部抜粋）】

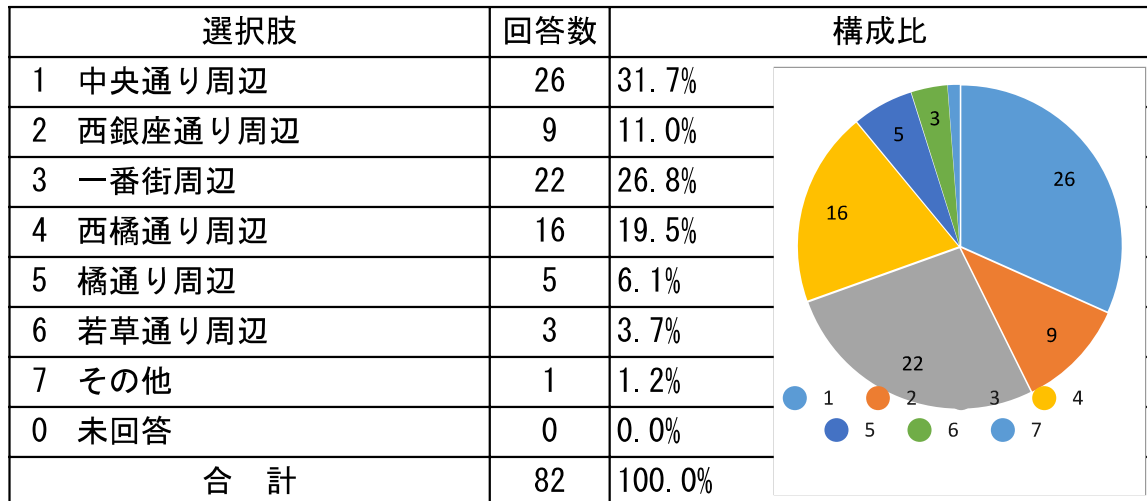
○声の掛け方や話し方によるのではないか

○客引き行為等を受けるような時間帯にニシタチ等に行くことはない

問5 ニシタチ等の路上で、「客引き行為等」を受けたことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1 受けたことがある	45	27.4%
2 受けたことがない	117	71.3%
0 未回答	2	1.2%
合 計	164	100.0%

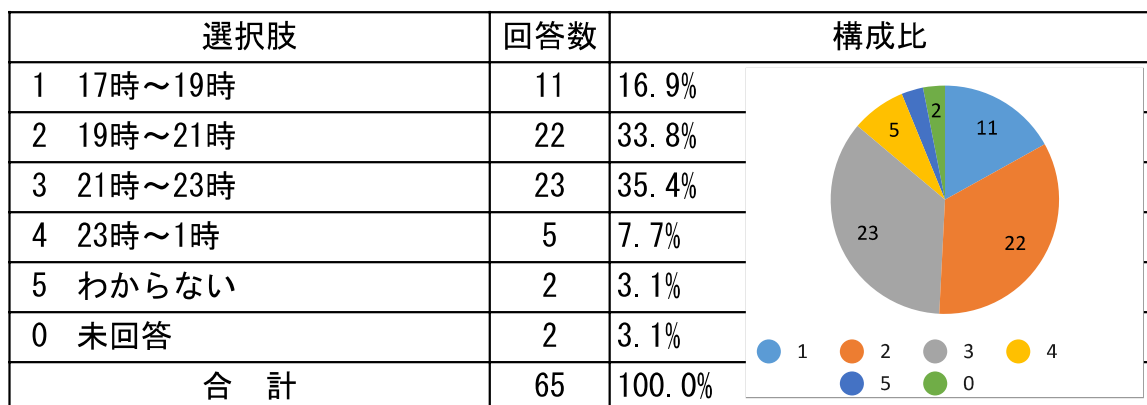
問 6 「客引き行為等」を受けた場所について、あてはまるものをすべて選んでください。



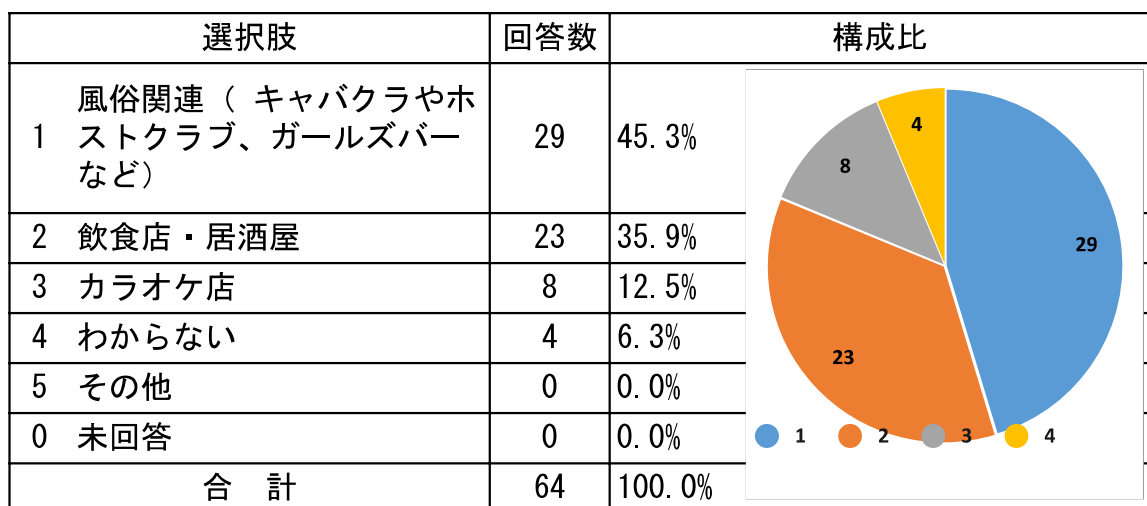
【その他のご意見（一部抜粋）】

○覚えていない

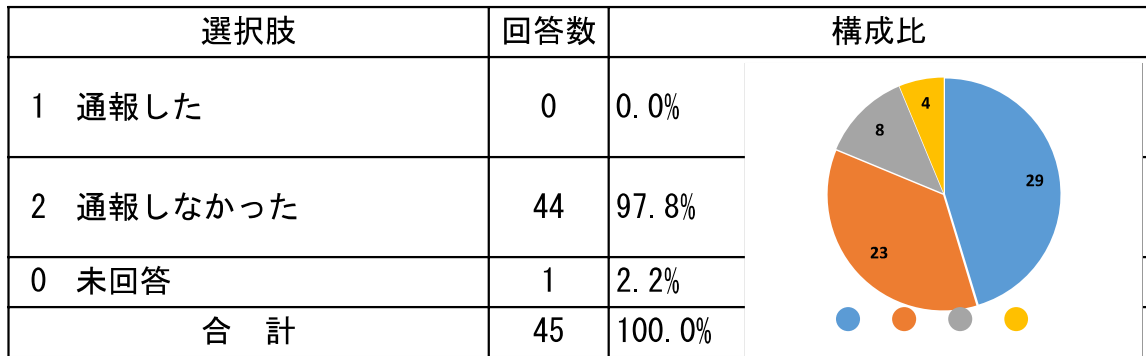
問 7 「客引き行為等」を受けた時間帯について、あてはまるものをすべて選んでください。



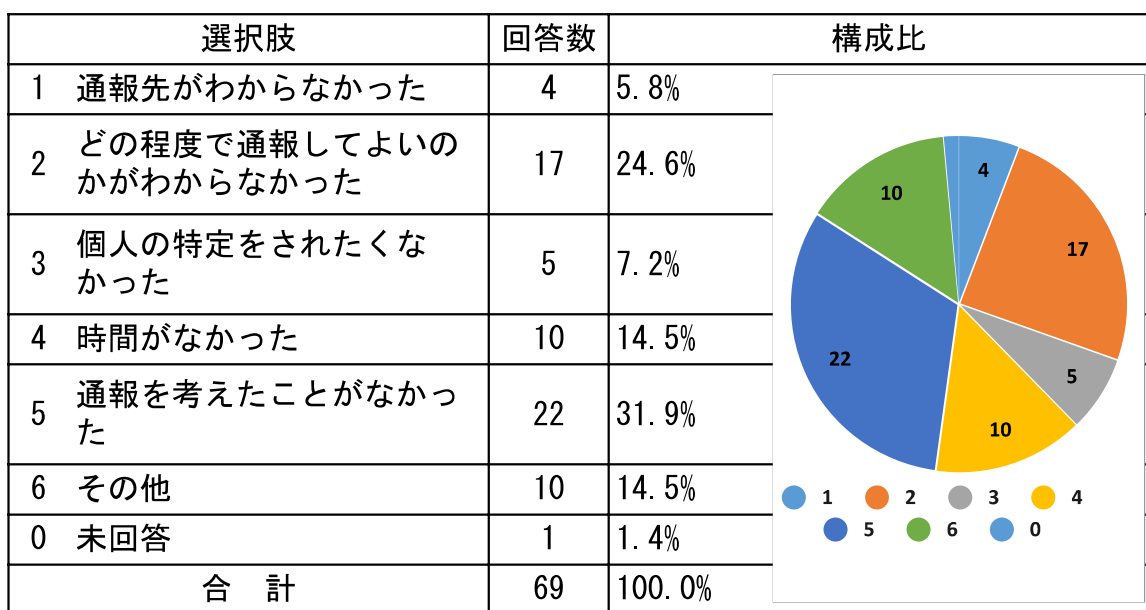
問 8 「客引き行為等」を受けた業種について、あてはまるものをすべて選んでください。



問 9 「客引き行為等」を受けた際、警察へ通報しましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。



問 10 警察へ通報しなかった理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

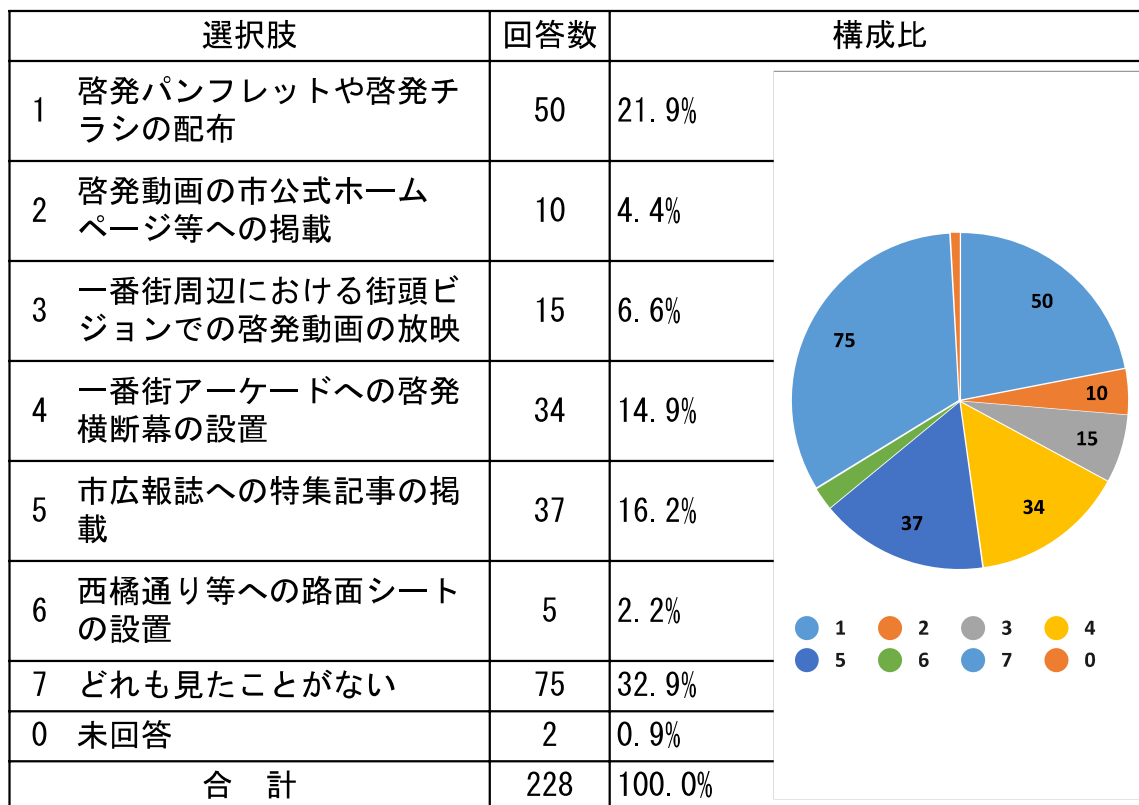


【その他のご意見（一部抜粋）】

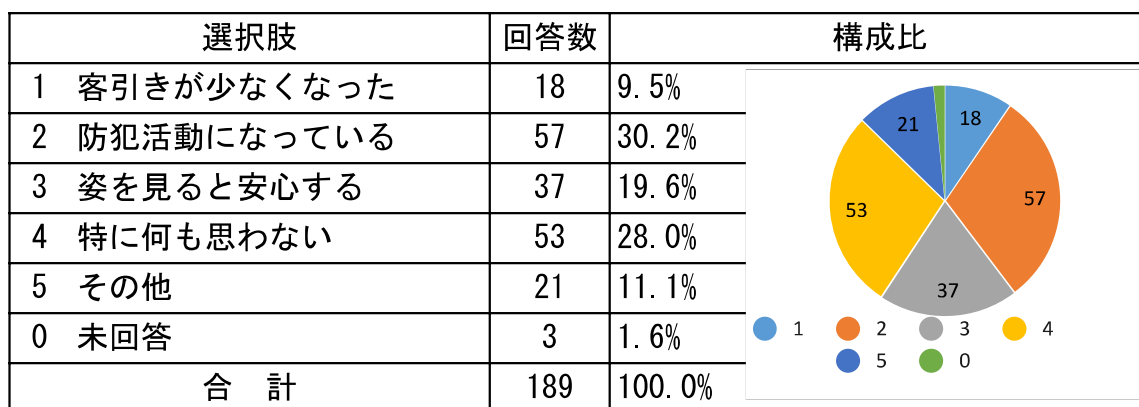
- めんどくさい
- この程度なら仕方がないと思った
- 危害を加えられたわけではなかったから

■ 本市の取組みについて

問 1 1 本市のこれまでの条例に関する啓発の取組みで、見たことがあるものをすべて選んでください。



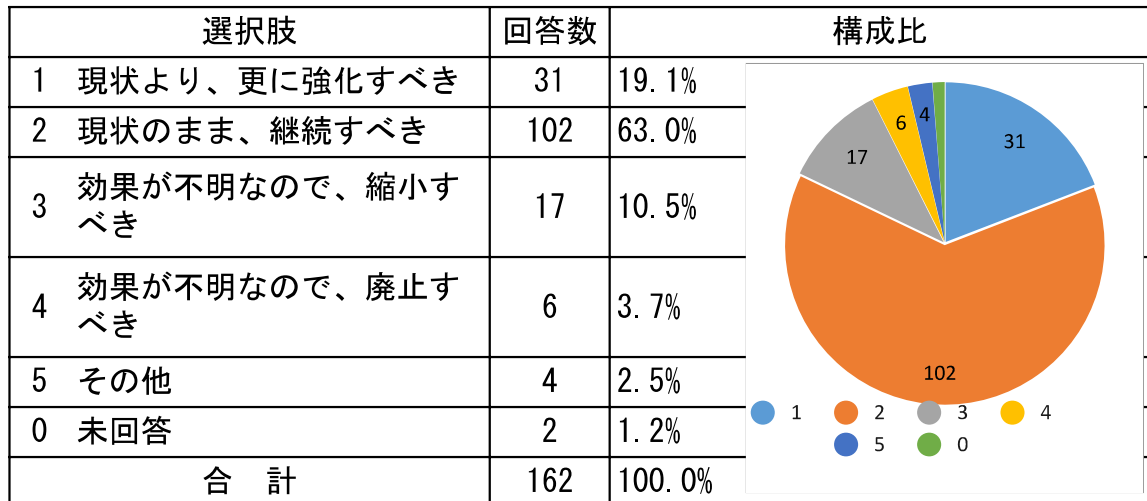
問 1 2 本市では、条例に基づき、職員によるニシタチ等の夜間巡回を行っています。その効果について、あてはまるものをすべて選んでください。



【その他のご意見（一部抜粋）】

- 見たことがない（ニシタチ等に行かない）ので、効果がわからない
- 夜間巡回を知らなかったなので、効果を知らないが、少し安心感がある
- 実施するなら、しっかりやらないとだめ

問 1 3 問 1 2 の夜間巡回において、今後の取組みについては、どのように考えますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

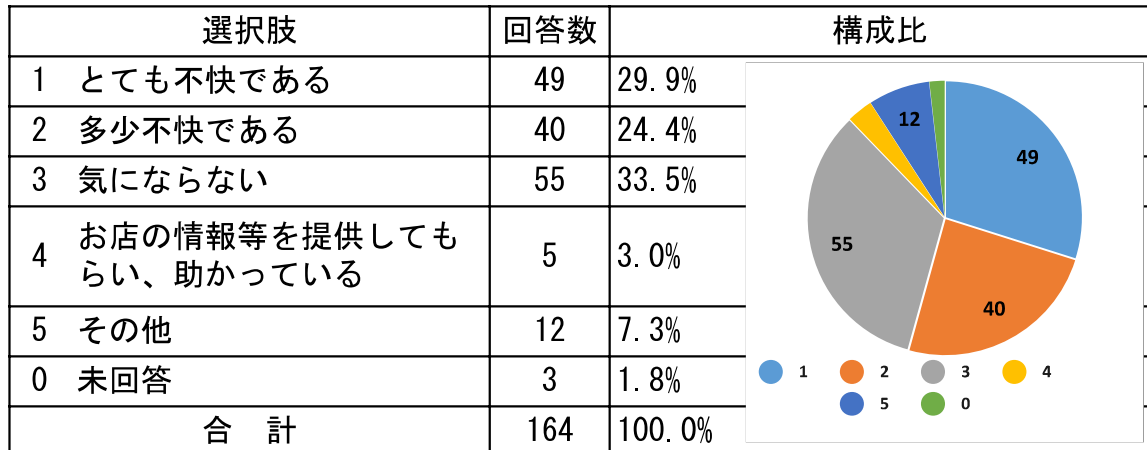


【その他のご意見（一部抜粋）】

- 目的に沿う夜間巡回でお願いしたい
- 効果をはっきりと示していただきたい

■ 無料案内所（風俗案内所）について

問 1 4 「無料案内所（風俗案内所）」について、どのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。



【その他のご意見（一部抜粋）】

- そんな所があるのを知らなかった
- 設置が合法であるなら、何も言えない
- 案内所にもよると思うが、参考にする程度にはあったら良いと思う

■ 「客引き行為等」全般についてのご意見

問 1 5 「客引き行為等」全般について、ご意見などがありましたら、自由に記入してください。

【客引き行為等に対して、否定的なご意見】

- 観光客に不快な思いをさせる恐れがあるから客引き行為はやめて欲しい
- 常識で考えられた品位ある行為であって欲しい。客引きはやめて欲しい。
- 「客引き行為等」のある通りと思っているので、ここ10年ほど「ニシタチ等」には行っていない。悪い印象を払拭するためにも、防犯活動にも繋がると思われるので、夜間巡回は継続していただきたい
- 犯罪、ぼったくりだけには注意してほしいと思います。巡回も大変とは思いますが、その点だけはしっかり見て頂きたいです。
- トラブルや事件・事故に繋がる恐れがあるため、自治体・警察・ニシタチ商店街が連携して、安全・安心な街づくり強化を図っていただきたい。など

【客引き行為等に対して、肯定的なご意見】

- 客引きによって、いわゆる“ボッタくり店”などに誘導されるなら問題だと思う
- 仕事なので仕方がないのかなあと思う反面、若い子など判断ができない子が強引に勧誘されないか心配
- 強引であれば取り締まってほしい。
- あまり客引き行為等に遭遇したことはないので、気にならない。飲み屋街はそのような事は日常的に行われているし、それで生計を立てている方も相当数いると思われるので、致し方ないと思います。市の職員の方々は大変だと思う。
- 強引かつ不明瞭なものは除去してほしいが、健全な商行為の範囲内のものは許容できる。など

【その他のご意見】

- 遅い時間に通らなければ良いか、行かないかです。
- チラシを見たことはあるけれど、どこからが客引き行為になるのかを周知してもらう必要はあると思う。
- 警察の巡回が効果があると思う。
- 客引き行為が売上に関係するなら、生きていくうえでは、収入増なる何らかの対応が必要と思う。
- 店の前でたむろしている「怪しげな」、「少し恐ろし気な」野郎どもを見かけることが多い。
- お店側じゃないので、何とも言えないけれど、客引きしなくてもいい、何かシステム的なものをお店側が用意するとか、宮崎市側がお店に対して罰金や何かのペナルティを科す方法があるといいと思う。ペナルティや罰金は利用した人が通報するシステムにするとか、何か方法を考えて欲しい。
- あまり、自分に関わりがなかったのに、それほど気にしていなかったが、迷惑行為自体そのものが、観光客などに宮崎の品位が下がる行為は、してほしくないですね。
- 昔は客引き行為を見たことがありましたが、今は、夜にニシタチにはあまり行かないので現状がわかりませんが、夜間巡回してくれてるのは防犯対策にもなると思うので大変ですが今後も続けてほしいと思います。
- あまり街中に飲みに行くことがないので、たまに出かけると、昔より治安悪めになったなと思います。風俗関係のお店や案内所はもう少し裏通りっぽい所にあった方が良さそう。子どもも通るような場所に大々的にあるのは、あまり良い感じはありません。
- 一つの市場ではあるので、強く反対とも言えません。客引き行為が問題ではなく、そのような仕事が続かない、現在の経済的・社会環境的な問題の方が大きいと思います。
- されたことも見たこともないのでわからないが、店側も必死なのだろう
- 以前に比べて、そのような店が増えたと思う。飲食店に魅力がなくなり、コロナ以降は不景気なのかなと思う。
- 特徴がある店を場所ごとに固めて活気を持たせると良いかもしれません。街に行っても女の子の店ばかりではまた行きたい街ではないですね。
- 減らすのであれば、罰則を厳しくすると減るのではないのでしょうか。
- 無料案内所は入らなければよいだけのことであり、最近是不快なレベルの客引きに出くわしたこともない。しかしながら、この業界においては、対策の手を緩めるとすぐに以前の状態に戻ると思う。
- 一番街にパチンコ店が減り良くなったと思いますが、風俗やホストの動画広告が煩いです。片目で音を頼りに歩行する身としては、騒音は減らして欲しいです
- 無料案内所が多すぎる。それにともなって従業員がうろうろしている。安心して歩けない環境である。
- イタチごっこ
- 宮崎はおとなしいほうだと感じる。昔に比べ客引き自体は減少しているため、気にならなくなった。

など

ごみ減量とリサイクルの推進に関するアンケート調査 集計結果

◆ 調査の目的

本調査は、本市における一人一日当たりのごみ排出量とリサイクル率が全国平均を下回っている状況を踏まえ、今後のごみ減量及びリサイクル率向上に向けた効果的な施策を立案するための基礎資料を得ることを目的とする。

具体的には、以下の項目を明らかにすることを目指す。

1. 市民の意識と行動実態の把握

ごみ減量やリサイクルに対する市民の関心度や、市の課題(ごみ排出量の多さ等)に対する認知度を測定する。

家庭で既に実践されている取り組みと、実践されていない理由(「面倒」「効果が不明」など)を把握し、行動変容を妨げる障壁を特定する。

生ごみ削減や資源化物の分別における具体的な課題点を明らかにする。

2. 今後の効果的な施策の検討

市民が行政に期待する取り組み(周知・啓発、分別方法の改善、経済的支援など)の優先順位を把握する。

市民のニーズに合った支援策や情報提供の方法を検討し、今後のごみ減量計画に反映させる。

3. 新規施策(レジ袋型指定ごみ袋)の導入可能性の検証

現在検討中の「レジ袋型指定ごみ袋」に対する市民の受容度(購入意向)を測る。

購入したい理由(利便性など)と、購入したくない理由(環境・費用面での懸念、マイバッグの利用習慣など)を多角的に分析し、導入の是非や導入する場合の課題を検討するための判断材料とする。

4. 市民参加の促進と機運の醸成

キャッチコピーの募集などを通じて市民に参加の機会を提供し、ごみ問題は行政だけでなく市民一人ひとりが取り組むべき課題であるという意識(シビックプライド)の醸成を図る。

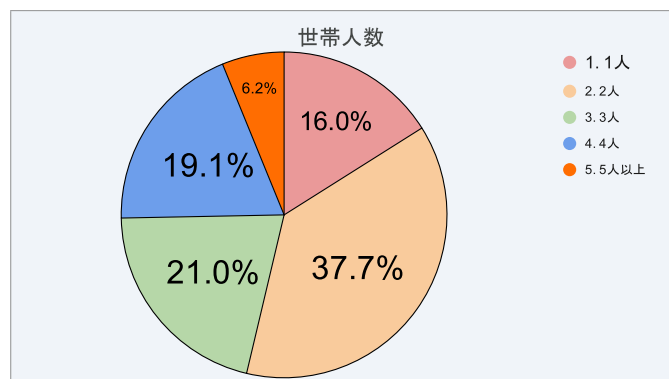
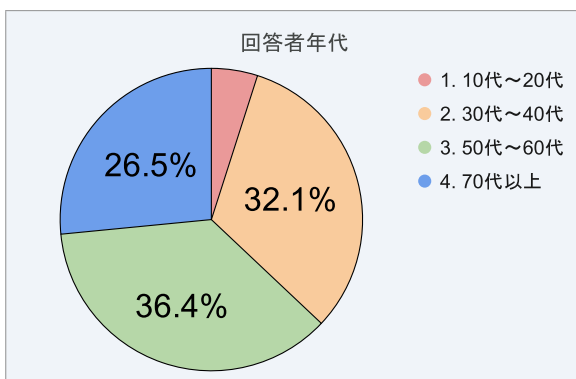
◆ 調査概要

(1) 調査期間 令和7年7月11日～令和7年7月25日

(2) モニター数 196人

(3) 有効回答者数 162人 (回答率 82.7%)

(4) 担当課 環境部 環境政策課



◆ 調査結果まとめ

今回の調査から、市民はごみ問題への関心が高い一方で、市の具体的な課題や効果的な削減方法についての情報が十分に行き渡っていないという「意識と情報のギャップ」が明らかになった。

今後は、以下の点が重要になると考えられる。

- ・**情報提供の強化**：ごみ排出量の現状やごみ処理コストといった客観的なデータを提示し、「なぜごみ減量が必要なのか」という市民の理解を深める。
- ・**実践のハードルを下げる**：生ごみ処理など、効果は高いが実践が難しい取り組みに対し、補助金制度の充実や具体的な方法の丁寧な説明を行う。
- ・**分かりやすさの追求**：分別ルールの特簡化や、誰にでも分かりやすい広報を徹底し、市民が気軽に取り組める環境を整備する。

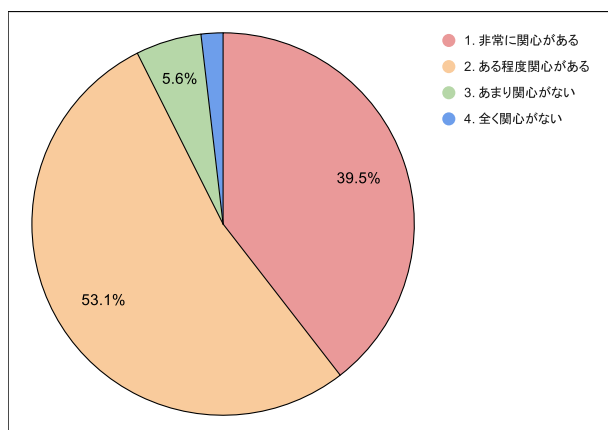
特に、利便性を求める声と環境意識の高さからくる意見とで賛否が分かれた「レジ袋型指定ごみ袋」の件は、多様な市民の価値観に配慮した政策の難しさを象徴していると思われる。

市民一人ひとりの高い関心を具体的な行動へと繋げていくための、きめ細やかな行政のサポートが期待されていると考える。

◆ 調査結果

1. ごみ減量・リサイクルへの関心と認知度

(問1)ごみ減量やリサイクルに関心がありますか？

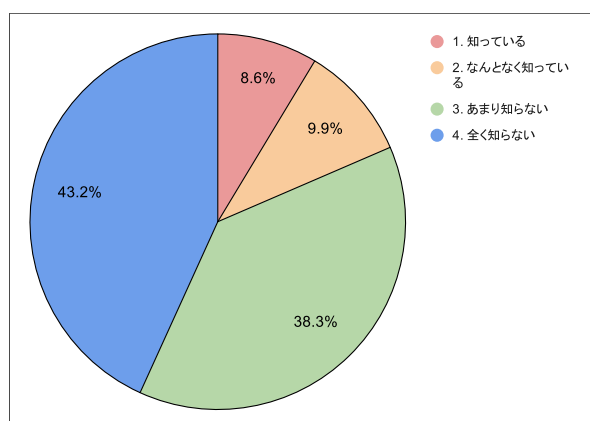


①非常に関心がある	64
②ある程度関心がある	86
③あまり関心がない	9
④全く関心がない	3

◆回答者の大多数がごみ減量やリサイクルに「非常に関心がある」または「ある程度関心がある」と回答しており、問題意識への高さがうかがえる。

(問2) 宮崎市の一人一日当たりのごみ排出量が全国平均より多いことを、ご存知ですか？
926g(R5実績)、全国851g(R5実績)

※宮崎市

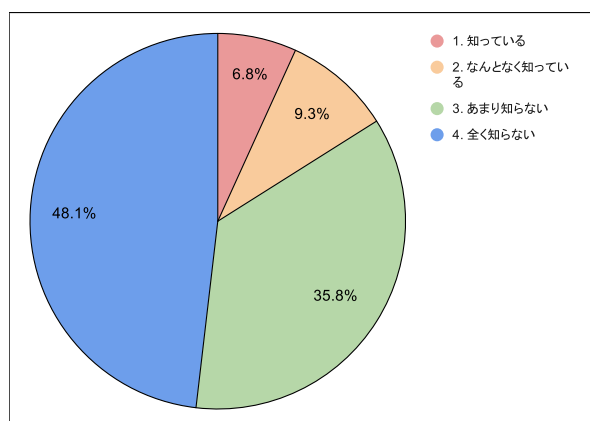


①知っている	14
②なんとなく知っている	16
③あまり知らない	62
④全く知らない	70

◆「全く知らない」「あまり知らない」と回答した人が大半を占めている。市民の関心の高さを行動変容につなげるためには、まず現状を正確に伝える広報・啓発活動が不可欠であると考えられる。

(問3) 宮崎市のリサイクル率が全国平均より低いことについて、ご存知ですか？
(R5実績)、全国平均19.5%(R5実績)

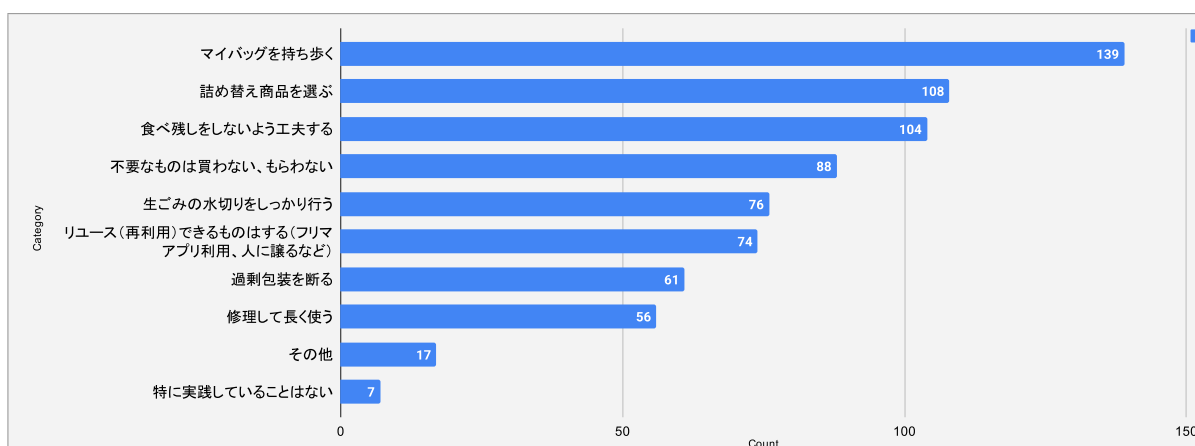
※宮崎市14.1%



①知っている	11
②なんとなく知っている	15
③あまり知らない	58
④全く知らない	78

2. ごみ減量のための実践行動

(問4) 普段の生活で、ごみ減量のために実践していることは何ですか？(複数回答可)



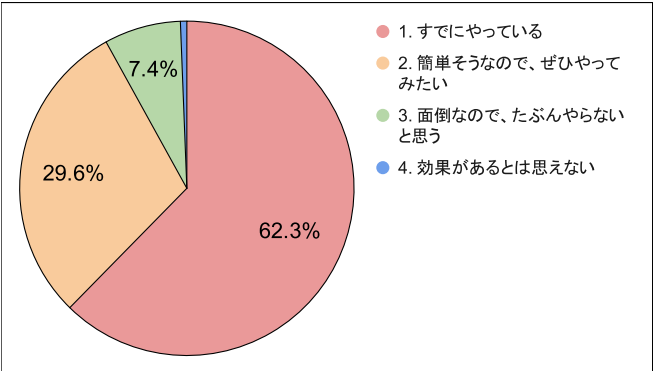
◆日常的な買い物や食事に関連する取り組み(マイバッグ、詰め替え、食べ残し)は実践率が高い一方で、特定の設備や活動への参加が必要な取り組み(生ごみ処理機、資源集団回収、フリーマーケット)は実践率が低い傾向にある。これらのデータから、ごみ減量とリサイクルをさらに推進するためには、市民の参加が少ない取り組みに対する啓発や支援が重要であると考えられる。

その他回答

- ・牛乳パックや食品トレーはスーパーのリサイクルボックスに入れている。
- ・生ゴミはコンポストを利用して畑の肥料にしている。
- ・草木の処分は干してから袋にいれている。
- ・分別をしっかりと行っている。

- ・食品の消費期限最終日をカレンダーに書き、残らないようにメニューを考えている。
- ・新聞、段ボール、古紙は近くのエコステーション(イオンなど)に持っていく。

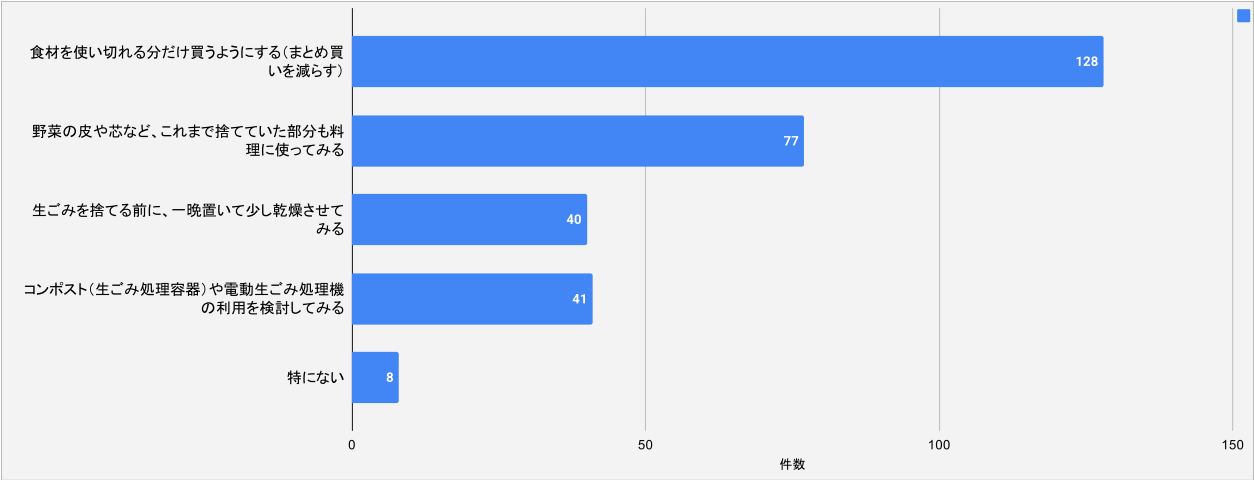
(問5)家庭から出る生ごみの減量について 家庭から出る燃やせるごみの約4割が生ごみで、生ごみの約8割が「水分」と言われています。水分は「ごみの重さ」につながります。例えば、野菜の皮や使い終わったお茶がらを、捨てる前に「ぎゅっ」と一絞りするだけで、ごみはかなり軽くなります。この「水切り」をやってみようと思いますか？



① すでにやっている	101
②簡単そうなので、ぜひやってみたい	48
③面倒なので、たぶんやらないと思う	12
④効果があるとは思えない	1

◆「すでにやっている」と回答が最も多くおり、ごみ減量とリサイクルへの意識と行動意欲が高いことがうかがえる一方で、「面倒なので、たぶんやらないと思う」という回答が一定数あり、行動への障壁が存在することが示唆される。新たな取り組みに関心がある層への情報提供や参加機会の創出、行動への障壁を取り除くための簡便な方法の提示や、取り組みの効果を実感できるような情報発信が重要でと考える。

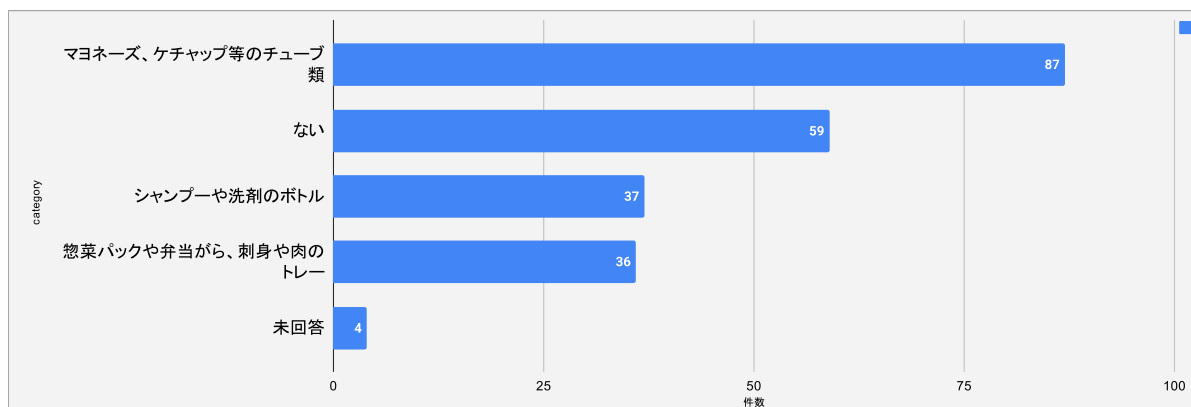
(問6)ご家庭で簡単にできる生ごみ減量の工夫をいくつか挙げてみました。あなたが「これなら自分にもできそう」「やってみたい」と思うものはありますか？(複数回答可)



◆これらのことから、市民は生ごみ減量に対して非常に前向きであり、日常生活の中で実践できる具体的な行動を重視しつつ、より高度な生ごみ処理方法にも関心を持っていると考えられる。

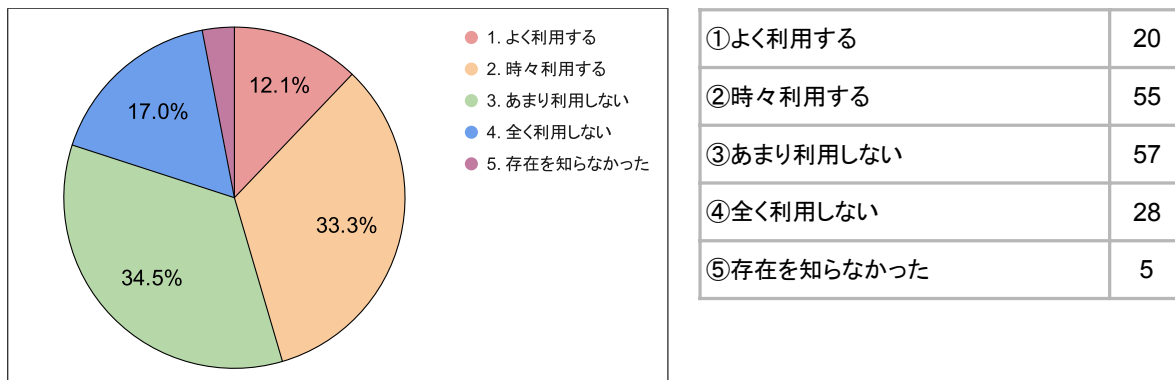
3. リサイクルに関する課題

（問7）プラスチック類の処理について以下の項目の中で、『燃やせるごみ』として処分しているものはありますか？（複数回答可）



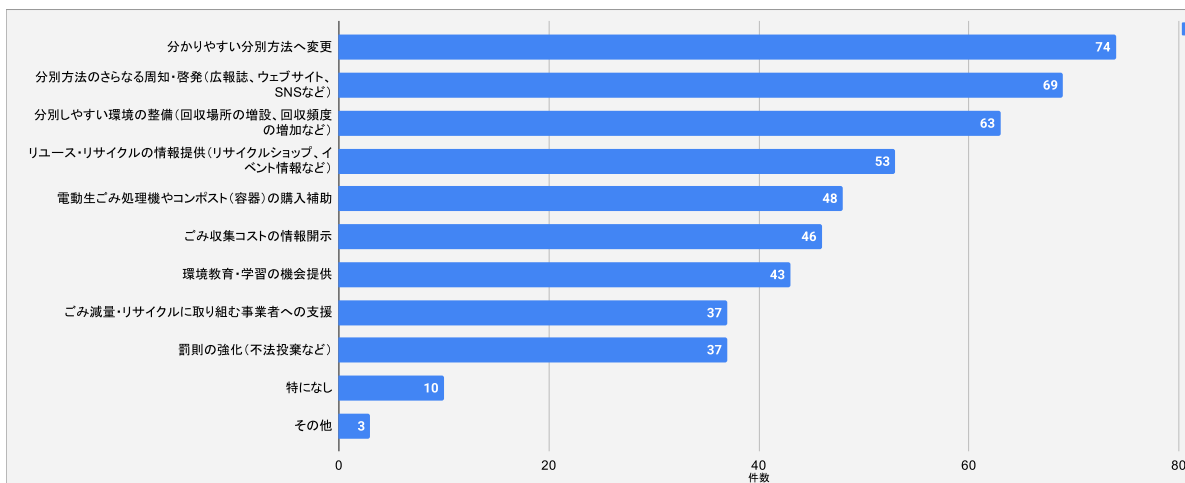
◆汚れが気になるという理由で、リサイクルに出すのをためらう傾向が見られた。適切な洗浄方法や排出ルールを分かりやすく周知することがリサイクル率向上に繋がると考えられる。

（問8）リサイクルショップやフリーマーケット、地域のリユースイベントなどを利用していますか？



4. 宮崎市への要望

（問9）ごみ減量・リサイクル率向上のために、行政に期待することは何ですか？（複数回答可）



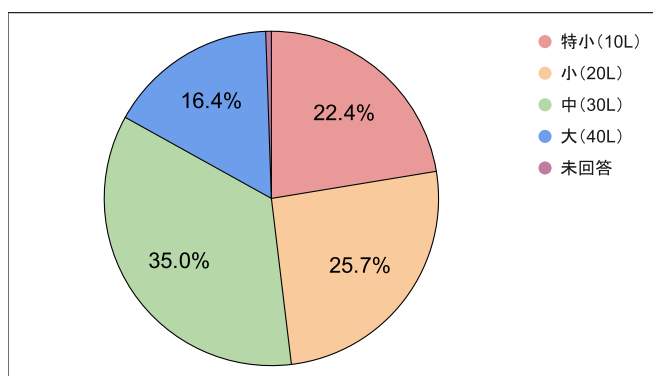
◆市民はごみ減量とリサイクルを推進するために、行政に対して「分かりやすさ」「利便性」「情報提供」「経済的支援」の4つの側面からのアプローチを期待していると解釈できる。

その他意見

- ・生ゴミ処理機を購入し 肥料として活用しているが、便利の反面電気代は馬鹿にはならない。 宮崎市では助成金はないのか？
- ・ごみを捨てる頻度や場所など、分別しやすいようにもう少し考えて欲しい。
- ・ごみの減量、リサイクル、環境づくり等に関連して、各地域の自治会の役員をはじめ住民方々へ、情宣活動や学習・研修活動を、義務付ける(1回以上/年)位した方がいいと思う。
- ・ごみの排出量やリサイクル率が宮崎市は全国平均を下回っていることをもっと周知して、経費が掛かっていることを広報すべきだと思う。

5. 「レジ袋型指定ごみ袋」への意見

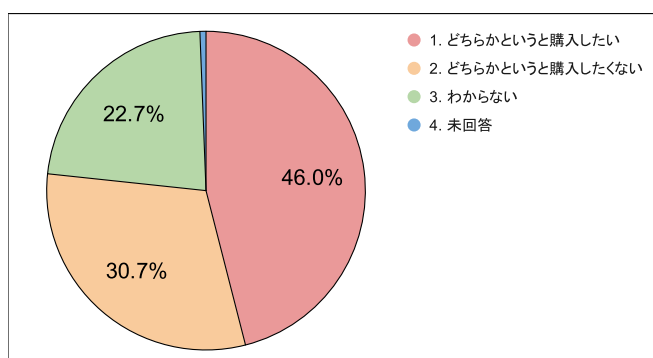
(問10) 指定ごみ袋(燃やせるごみ袋)について① 日常生活で使用する指定ごみ袋(燃やせるごみ)は、どのサイズを主に使っていますか。(※庭木の剪定、草刈り時に使用するものは除きます。)



①特小(10L)	41
②小(20L)	47
③中(30L)	64
④大(40L)	30
⑤未回答	1

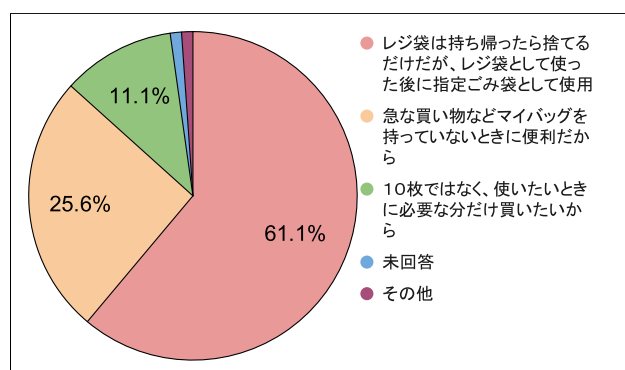
◆最も多い世帯構成である**2人世帯(38%)と、最も多く使われているゴミ袋サイズである中(30L)袋(35.0%)**の割合がほぼ一致している。興味深いのは、4人以上の世帯が全体の25%を占めるのに対し、大(40L)袋の利用率は16.4%と低い点である。これは、人数の多い世帯でも30Lサイズで十分足りているか、あるいはごみの分別や減量を意識することで、最大サイズの袋を使わずに済んでいる可能性を示唆していると思われる。

(問11) 指定ごみ袋(燃やせるごみ袋)について② スーパーなどで、燃やせるごみ袋(市の指定袋)として使えるレジ袋が1枚ずつ販売される場合、購入しますか？(補足:現在の指定ごみ袋の素材は、やわらかく伸びる素材。この質問のレジ袋は、シャカシャカとした手触りの伸びない素材のもので、レジ袋として持ち帰った後、そのまま、燃やせるごみ袋として活用することを想定しています。)



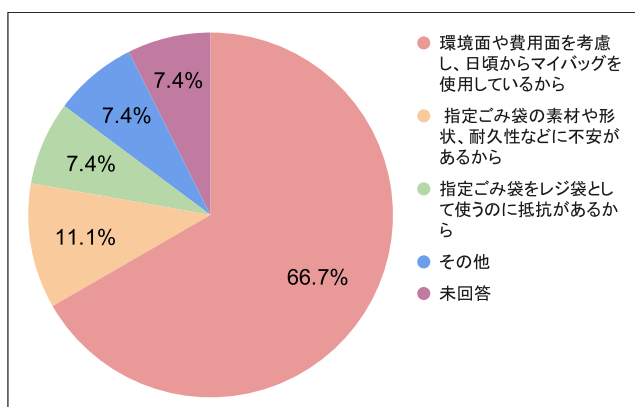
①どちらかというで購入したい	75
②どちらかというで購入したくない	50
③わからない	37
④未回答	1

(問12) 指定ごみ袋(燃やせるごみ袋)について問11の回答でどちらかというで購入したいと答えた理由に1番近いものを次から1つ選択してください。[どちらかというで購入したいと回答した方のみ]



①レジ袋は持ち帰ったら捨てるだけだが、レジ袋として使った後に指定ごみ袋として使用できるのは便利だから	55
②急な買い物などマイバッグを持っていないときに便利だから	23
③10枚ではなく、使いたいときに必要な分だけ買いたいから	10
④その他	1
⑤未回答	1

(問13) 問11の回答でどちらかというで購入したくないと答えた理由に1番近いものを次から1つ選択してください。[どちらかというで購入したくないと回答した方のみ]



① 環境面や費用面を考慮し、日頃からマイバッグを使用しているから	36
② 指定ごみ袋の素材や形状、耐久性などに不安があるから	6
③ 指定ごみ袋をレジ袋として使うのに抵抗があるから	4
④ その他	4
⑤ 未回答	4

その他意見

- ・マイバッグを推進するほうが効果的だと思う。
- ・コストに見合うか分からないから。
- ・大きさや値段次第

◆この結果から「うっかり忘れがちの人」や「合理性を重視する層」には強く支持される一方で、「環境意識が高く、マイバッグが完全に定着している層」には不要と判断される、という明確な構造がある。したがって、この施策を成功させるためには、反対派の環境意識を尊重しつつ、「あくまで便利な選択肢の一つ」という位置づけを明確にすることが重要であるとする。そして、「わからない」と回答した層を惹きつけるために、納得感のある価格設定と、安心して使える品質を提示することが、今後の大きな鍵となると思われる。

6. キャッチコピーにみる市民の想い

寄せられたキャッチコピーからは、「もったいない」「未来のため」「地球にやさしく」といったキーワードが多く見られ、ごみを単なる廃棄物ではなく、未来の環境や資源に繋がるものとして捉える意識が根付いていることが伺える。

例：「まだ使えるよ すてる前にもう一度 ごみを減らそう 未来のために」

「ストップ！ 捨てる前に リサイクル」

「あなたの心がけで救える地球の温暖化」

「ごみ」と「資源」は紙一重 こつつつ増やそう 宮崎の「資源」

7. 自由意見

・リチウムイオン電池の回収場所で回収できない(型が違う)といわれ家電量販店に行っても回収できないといわれた。その場合どこで回収してもらえるのか？

・ごみの収集に関して集めてくださる方々に感謝のみです。高齢になると分別が大変なこともあります、迷惑をかけないようにいたします。この暑い中ありがとうございます。

・ごみの出し方、分別でその方の人となりがわかります。気持ちよく回収していただける良き市民になりたいと思います。

・月に1回の収集を2回行ってほしい。忘れると長くだせないことがある。

・再利用や、他のものに置き換えて利用する工夫の講習会などを行ってはどうか。

・1年以上使わないものは捨てる等、報道番組がある。これではごみが増え、ごみ処理が大変では。一考を。啓発も。

・集積所まで遠い。免許を返納したので無理。個別収集を中山間地だけでも広げてほしい。

・草木は干してから袋に詰めていますが、草木処分用の特大サイズの袋も欲しい。

・草の処分に困っている。草類が多く、袋をたくさん使うのでできれば市販の袋で出せるようにしてほしい。

・リサイクル業者が簡単に見つけれない。以前押し買いにあった経験がある。布団のリサイクルだったが、とても良くなかった。

・エレクトーンや洋服など、いくつかのリサイクルショップを回ったが引き取ってもらえなかった。

・コンポストの利用方法や、使用する事でごみの減量になることを知らせてほしい。

・電動生ごみ処理機やコンポストの購入補助に関して、まだ知らない人がいると思う。

・UMK(テレビ宮崎)で流れている「食べKID宣言」の音楽や歌詞もいいし、あんな感じのも良いなと思います。